

資料 3

第1回エネルギー分科会における 主なご意見について

令和5年度スケジュール (予定)

7月26日 下水道技術開発会議 (R5年度第1回) エネルギー分科会実施方針 (案) を報告・意見聴取

9月4日 エネルギー分科会 (第1回)

- ◆今年度のエネルギー分科会検討事項 (案)
- ◆下水道技術ビジョンのフォローアップ及び新技術の開発促進・実装に向けた検討
- ◆国の動向について (本省より)
- ◆農業利用に係るGHG排出試算の考え方について (下水協より)
- ◆水処理過程からのN₂O調査方法の確立に向けた取組等について
- ◆国総研の脱炭素の取り組み事例

12月14日 エネルギー分科会 (第2回) (本日)

- ◆下水道技術ビジョンロードマップ (脱炭素関係) に係る技術開発動向について
- ◆新技術実装等に向けた意見聴取
- ◆水処理からのN₂O調査方法整理状況について
- ◆将来的な全体最適化に向けた検討方向性 (西村委員より情報提供)

1月下旬 エネルギー分科会 (第3回)

- ◆下水道技術ビジョンロードマップ (脱炭素関係) に係る技術開発動向について
- ◆新技術実装等に向けた分科会意見聴取、とりまとめ案
- ◆水処理からのN₂O調査方法に係るマニュアル案について
- ◆国総研の業務取組状況報告
- ◆R5年度の検討とりまとめ案について

1月末～2月 下水道技術開発会議 (第2回)

R5年度エネルギー分科会検討内容の報告

※ 各種テーマにつき、ご助言やご意見への反映については、進捗も含め第2回または3回分科会にて発表を想定。

※ 各委員皆様の情報提供等がございましたら、各分科会中にて報告頂くことを想定。

第1回エネルギー分科会における主なご意見について

No	分類	意見	対応案
1	ロードマップのフォローアップ	例えば水素やアンモニアの輸入の時期、CCSの導入時期など、商社にもヒアリングをしてみると、今後、長期のロードマップが見えやすくなると思われる。	委員のご協力を頂き、水素、アンモニア調達、CCS動向等に関するヒアリングを実施した。今後の注力分野検討等において反映させていきたい。
2	国土交通省における脱炭素に向けた取組について	水処理過程におけるN ₂ O対策の今後に関連して、今年度の分科会にて調査マニュアルを作成して、今後は全国的に多くのデータを収集していくというフェーズになると思うが、データ収集に係る支援は考えているか。	(国技室回答) 令和5年に創設した「下水道温室効果ガス削減推進事業」にて、地方公共団体実行計画の策定等に必要となる調査・検討や、温室効果ガス削減に必要な運転方法の変更のための計測機器・制御装置の設置等が支援対象とされており、水処理に伴うN ₂ O排出量削減に関するデータの蓄積や各種計測・制御機器等の導入も交付対象となる。
3	水処理過程で発生するN ₂ O	7ページの「〈参考〉溶存態N ₂ Oの分析方法」についてどの程度掘り下げて書くのか。	今年度は、下水試験方法に記載の内容を参照する形にとどめたいと考えている。溶存態N ₂ Oの取り扱いについて、環境省のインベントリ会議の動向なども確認しつつ、来年度以降に詳細を追加することも考えている。
4	水処理過程で発生するN ₂ O	スポットサンプリングの場合、1日に何回試料採取すべきか、どのタイミングで採取するのかが非常に重要である。流入水の時間変動の話や滞留時間等で推定できるようなことができればどのタイミングで採取すべきか示すことができるので検討をお願いしたい。	ご指摘の点については、有識者の先生方へも意見を伺い検討している最中である。第2回エネルギー分科会時には、検討結果をお示しする。

第1回エネルギー分科会における主なご意見について

No	分類	意見	対応案
5	廃棄物分野との一体処理促進	対象とする5都市の規模について、なるべく幅広く対象とするのが良いと考える。	連携実績、連携検討実績のある都市のうち、妥当性を確認するために連携パターンを網羅できるよう北海道、関東地方、北陸中部地方、関西地方、九州地方の5地域から選定。規模に関しても、小規模・中規模・大規模処理場を選定。